

くすのき



令和3年度
千葉市立山王中学校
学校だより7号
令和3年11月15日(月)

季節の移ろいの中で

細川 義文

暦の上では冬を迎え、1日ごとに朝の空気が冷たく澄んでくる、季節の移ろいを感じさせる頃となりました。3年1組教室前の廊下の窓から外を眺めると、雪化粧をした雄大な富士山の姿が見られます。山王中学校から約130kmも離れているのにはっきりとした姿が眺められることで、富士山がいかに大きいかということと、やはり関東は平野であるのだということに改めて気付かされます。写真を掲載しましたが、わかりにくいもので申し訳ありません。実際の眺めはとても素晴らしいものですので、自由授業参観等で学校にお立ち寄りの際にご覧いただければと思います。



さて、季節は移り替わっていきますが、山王中学校では変わらないものがあります。それは学年生徒会の「5分前入室・2分前着席」の呼びかけです。前期に引き続き、後期の学年生徒会メンバーも頑張っております。4月から1日も休まずに継続させていることはとても素晴らしいことです。そして、学年生徒会メンバーの呼びかけがなくても、自主的に行動できる人も増えてきていると思います。より良い学校生活のために努力する生徒の皆さんを、これからも応援していきたいと思っています。

先日、本校職員が地域の方から「最近の生徒さんの登下校の様子を見てみると、随分と落ち着いてきたように思う」というお話をいただきました。私自身も同様の内容のお話を地域の方からいただきました。生徒の皆さんの頑張りが地域の方に認められるのは本当にうれしいことです。お叱りの電話をいただくことはまだありますが、それもごく少数の限られた人たちがやっていることであり、大多数の生徒の皆さんは落ち着いた様子で登下校をしているので、安心しました。とはいえ、登下校の際の危険がなくなったわけではありませんので、今後も引き続き、安全への啓発と職員の見守りを続けていきたいと思っています。